

春風の便り

04
VOL



こんにちは、
はるた けいすけです。
「人と地域が輝く社会づくり」に、
青年らしく真摯と、
また全力で取り組めます。

平成21年の 抱負・目標

声を聴き、 声を創る



自治を自分たちの手に
取り戻すチャンス！



平成19年を象徴する言葉が「偽」で、昨年を象徴する言葉が「変」で

ありました。古い組織、しがらみからの「解放」。儲け続けなければならぬという脅迫観念からの「解放」。縛り続けてきたものから解放される1年になるのでは？というものでした。深い洞察であると思います。私は「100年に1度の金融危機」と言われる今の時に、政治に携わる職務を頂いたことは、使命であり、天命であると深く受け止めて、一生懸命働いて参りたいと、更なる決意をいたしております。

厳しい時代にして、はじめて「助け合い」や「自立」という大切なこと、「自治」を取り戻すチャ

市議会議員として2回目の
新年を迎えることが出来ました。
皆様に感謝申し上げます。

誠実にして勤勉に

1年目の議会質問は、市民相談の中から生まれた内容が主でありましたが、2年目の質問は、市をひとつの経営体と見て、今行政に必要であると認識したテーマの質問が主となりました。少し市政の肝要に近づいてきているとの手ごたえがある一方、真に市民の声を聴けているのか？との不安を感じています。これまでの市民相談の累計は217件、1年目より少しペースが落ちています。「着眼



大局 着手小局」この難局を切り拓くためには、もつともつと、自分を磨き、ひとつひとつ誠実に事に対峙することを、自分に課して参ります。

マスコミに騙されない、草の根のネットワーク

今、様々な格差が叫ばれていますが、あまり話題に上らないのが、進展する「民主主義の高齢化」、「世代間の格差の拡大」です。意思を表明する選挙において、若年世代の占める割合が小さくなり、若者の声が益々届きにくくなっていくのです。将来世代への負担の先送りは、将来の活力を削ぐことに繋がります。そのためにも、マスコミに騙されない、市民による草の根のネットワークを築くことが求められます。選挙公約で今年度着手できていないこの「若い世代のネットワーク構築」を今年度のテーマとしてスタートします。

3の一般質問

春田

といえは「行財政改革」の

「フロント」を構築したいと思っ
ています。今回は2点にわた
り質問しました。ひとつは「人
件費問題」(これは後で詳細を)
について。2つ目は、「改革スビ
ードの遅さ」を指摘しました。
第1回目の質問の時に取り
上げた「指定管理者制度」の評
価について、評価結果のまとめ
が改善に反映するまでに1年
のタイムラグがあることを指
摘しました。

3点目の「健康寿命の延伸
について」は、「春風の便り」V
L3」で特集した、いかに医療

質問事項 (2008.6.19)

1 職員・スタッフの生産性向上について

- (1)人件費総額に対する受けとめ
- (2)市民満足度を高める活動における現状の課題
- (3)日本経営品質賞に準拠した取り組み
- (4)正規職員・非正規職員の給与・賃金と生産性に対する考え

2 指定管理者制度について

- (1)平成21年度実施に対する課題と対策
- (2)中間期に評価を行うなどの新たな取り組みへの見解

3 健康寿命の延伸について

- (1)医療費削減に対する考え、健やか高松21の受けとめ
- (2)e-wellnessシステムの導入
- (3)健康マイレージ制度の導入

4

前期高齢者の年金から
国民健康保険料を
天引きすることに対する
説明方法について

5

携帯電話機の
リサイクルについて

- (1)リサイクル推進の周知
- (2)NPO・障害者支援施設等での作業実施の考え

6

子育て支援について

- (1)高松中部東地域での幼稚園・保育所へのスムーズな受け入れ対策、公立幼稚園での預かり保育事業など今後の対策
- (2)ファミリー・サポート・センター事業の利用実態
- (3)食事提供などの要望への対応

*全文は、高松市議会のホームページで見ることができます。
<http://discuss.city.takamatsu.kagawa.jp/disc/>



その他、公明党青年局で推し進めてきた「クールアースデー」(携帯電話のリサイクル)での取り組みや、市民からの相談を基に、地域での課題、保育の不足について質問をしました。

市民との対話の中ではよく「公務員は仕事をしていないのでは」との声を聴きます。市は市民へのサービス業であると位置づけると、人の生産性向上(効率よくちゃんと働いているのか)が一番肝要であると考えられています。漠然と「働いていない」と質問しても取り上げてもらえないので、数字を足場にして攻めてみました。

質問

.....

平成18年度一般会計決算における歳出を性別別に分析した資料のうち、人件費に着目し、他の中核市と比較をした。人件費の総額は約307億円となっており、歳出総額約1303億円に占める割合が23.5%と、35の中核市の中で9番目に高く、市民1人当たりの額で見ると8番目と、高い数字を示している。人件費の総額を高めていく要因を見ると、委員等報酬が挙げられ、金額で約29億円、人件費に占める割合が9.3%と、

他の中核市より高い数字を示している。この委員等報酬の内訳は、大半が嘱託職員の人件費に該当する。これらのことから職員の生産性は低く、嘱託職員・臨時職員にアウトソーシングしたコストも効率性が低いと分析できる。市長は人件費総額をどうみているのか?

市長の回答

.....

総人件費の削減は大きな課題でございまして、ことから、職員数の適正化計画に基づく正規職員数の段階的な削減を進めるとともに、事務量や市民サービスを勘案する中で、非常勤嘱託職員のあり方についても検討してまいりたい。



人件費全体を見ると効率率が悪い」と指摘し、非正規職員で人件費を安くするといった行政の態度に問題提起をいたしました。サービス業として、スタッフ一人ひとりの能力を最大限に発揮できていますのか?市民から見ると、正規職員であるとか嘱託職員であるということとは関係ありません。私は、優秀な「志」を持った人材がいきいきと働けるよう更なる改善を進めて参ります。

十二

月の議会の特性が二年目になって

分かってきました。予算編成も概ね終わっていることから、来年度のことというより、少し長いスパンでの取組みを質問することがいいと判断し、今回のテーマを「評価の基準（何を重視するのか）」と設定し質問を作成しました。

一番目の「資産の有効活用について」は、未利用な資産（土地や建物）を売却することはもちろんのこと、今利用はしているけれど、本来の行政目的に照らして民間に任せるべきものも洗い出して、売却することを求め質問しました。

二点目の「政策評価について」は、昨年九月に帯広市へ視察に行つて学んだことを足場にして質問しました。行政が何を行いどんな結果だったのかを明らかにすることが求められています。しかし高松市の取組みが、肝心な目標の設定が不十分であることを指摘し、変更を求めました。

三点目の「瀬戸内国際芸術祭」は、資源の少ない高松市にとって、単なる現代アートのイ

ベントとして終わらせるのではなく、千歳一隅のチャンスと捉え、高松市が全庁を上げて取り組むよう求めました。

四点目の「まちなか居住」については、中心市街地の活性化だけではなく、広域交流拠点である本庁地区や、各拠点となる地域に人が集まるための施策が欠けていることを指摘しました。

教育は未来を決定づける大切な事業です。近年、テレビでも話題になっているフィンランド教育の「平等性・格差が少ない」ことに着目し、高松市の状況分析を平均値だけではなく、中央値・標準偏差とう指標の分析、学校規模分類別の分析の上から問題点がないかを指摘しました。そして、学力向上のために、学校図書館・図書館指導員の充実が大切であることを正しました。

質問

.....

図書標準100%達成目標に囚われるのではなく、読書推進のための目標に重きを置くべきです。また、小学校全校で専任の学校図書館指導員の配置を早急に行うべきです。

4の一般質問



市長の回答

.....

図書などの整備に加えて、人的な環境整備も非常に重要であることから、今後とも学校図書館指導員の適正配置に努めてまいります。

教育長の回答

.....

本の充実だけではなく、学校図書館の利用者数や図書貸し出し冊数等を学校図書館活用の重要な指標とするなかでさらなる充実に努めて参りたい。

質問事項 (2008.12.15)

1 資産の有効活用について

- (1) 資産評価算出方法における基準モデル採用理由、作業の進捗状況
- (2) 資産活用への所見

2 政策評価（高松版ベストバリュー）について

- (1) 施策目標への市民・外部評価委員の意見反映
- (2) まちづくり戦略計画に沿った組織体制の見直し

3 瀬戸内国際芸術祭について

- (1) 横断的な庁内プロジェクトチームの早期創設
- (2) 職員への事業理解浸透の取り組み

4 まちなか居住推進について

地域の大学や専門家を交えた居住推進の研究会設置

5 学校教育について

- (1) 教育の格差是正対策
 - ① 全国学力・学習状況調査での教科ごとの正答数の中央値・標準偏差
 - ② 学校規模別における標準偏差での差異の有無
 - ③ 学校・先生への具体的な指導・管理内容
 - ④ 格差縮小対策の強化
- (2) 学校図書館
 - ① 学校図書読書基準の早期整備
 - ② 利用促進目標への重点化
 - ③ 全小学校への専任学校図書館指導員の早急な配置

日	内 容
6/11	ミャンマー・サイクロン被災者支援の募金
25	中国・四川省大地震の被災者救援募金 「名もなき国家通り」～4町パティオ参加
6/2	総務消防常任委員会「原島陸上競技場について」出席
7	高松市水道資料記念館「たくれコンサート&花火大会」出席
11～25	平成20年度第三回高松市議会
14	2010年瀬戸内文化芸術祭のワークショップに参加
27	「高松都市圏の強みとお金の流れセミナー」参加
7/1	真鍋香川県知事へ「クールアースデー」の要望書提出
9・10	「自治体財政の見方」研修会参加
15～17	世田谷ものづくり学校、越後妻有大地の芸術祭等の視察
24	第37回消防技術四国地区指導会に出席
25	防災行政無線の整備状況の視察 自治基本条例を考えるフォーラムを傍聴 ブルーボラリス賞授賞式に参加
8/3	瀬戸内海クルーズ・子ども達無人島感動教室ボランティア
4	総務消防常任委員会「地域コミュニティについて」出席
7・8	地方自治をとりまく環境の変化に対応するための講演参加
14	高松まつり 総踊りに出席
15	終戦記念日 街頭遊説
19	全委員協議会「漏水対策」出席
21・22	「決算議会を前に地方自治を基礎から学ぶ」セミナー参加
25・26	総務消防常任委員会視察「地域コミュニティ」高浜・名張
31	「反貧困 全国キャラバン2008」に参加
9/5～22	平成20年度第四回高松市議会
13	まちゆうえんち・ナイトサロン参加
21	香東川河川敷クリーン作戦参加
29～10	決算委員会出席(8日間)
10/27	オリブ収穫祭参加
11/7	総務消防常任委員会「地域コミュニティ」出席
11	高松市文化奨励賞贈呈式、こども議会出席
13	かがわ緊急サポートネットワーク・いのちの応援会訪問
18	本があって人がいる学校図書館を願う会の懇談会参加
20	高松市・ツール市姉妹都市提携20周年記念式典・講演会に出席
29	子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ講演会参加 香川フィンランド協会創立10周年記念講演会参加
12/5～19	平成20年度第五回高松市議会

●市民相談件数55件 ●相談累計217件

★日々の活動は「春田のブログ」をご覧ください。
<http://haruta.ptu.jp/blog>

携帯はこちらから

会計報告 政務調査費

平成20年度(4月～12月)

費 目	会 額
1 研究研修費	119,247
2 調査旅費	0
3 資料作成費	71,280
4 資料購入費	26,999
5 広報費	96,195
6 広聴費	0
7 人件費	0
8 事務所費	3,062
9 その他	0
合 計	316,783円

平成20年度からは、高松市議会の政務調査費用は情報公開となり、全議員が1円から領収書を添付して報告することとなりました。

活動実績

皆さんからの要望が形になりました。



【太田上町】駅前側の側道修繕

議員のHさんから、太田駅前の道が狭いために夜に車が通ると、側道のフタがバタバタと鳴ってうるさく困っているとの相談を受け現地に急行。地元の自治会長さんとも協議し、予定していた区間を延長し修繕の要望をまとめました。



【仏生山町】通行止め標識の設置



議員のTさんが、友人から家の仏生山公園に沿った道路がこの先行き止まりなのに、車が進入し急な急なとの要望を伝えてくださり直ぐに対応。「この先行き止まり」との標識を設置しました。

【郷東町】カーブミラーの新設

地域の子供会で世話役をしている友人のTさんから、家の近くの道路で坂道からスピードを出し下ってくる車が危ないためにカーブミラーを設置して欲しいとの要望を受け対応、直ぐに新設できました。

【鶴市町】道路の修繕

近所に住まいのOさんから、道路が崩れて田んぼに子供たちが落ち落ちて危ないとの声を受け道路舗と折衝。一年がかりで修繕ができました。道幅も広がり交通の便も良くなりました。

【塩江町】いのしし注意看板設置

支持者のWさんから、猪と衝突する事故が増えているとの知らせを受け果土木へ都築果舗と折衝。一年がかりで注意看板を新設しました。

○相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。議員に限らず、どなたでも結構です。

春一番！

編集後記

大三国志展が高松市で開催されました。2世紀に中国で撮られた歴史の群像、人々の暮らしを垣間見ることができ感動しました。同じ頃ヨーロッパの地ではローマ帝国が興り、その後1200年もの長きにわたり繁栄を築いています。世界では歴史が細やかに記されているのですが、同じ頃の日本は邪馬台国の時代(神話の時代)です。歴史からは多くの事が学べます。そして混沌とした時代を拓くのは青年の使命であることも。



春田敬司 はるたけいし

昭和42年2月23日、兵庫県神戸市生まれ。国立高校工業高等専門学校機械工学科卒。(有)ジャストブレイン代表取締役(経営コンサルタント)。平成19年4月高松市議会議員初当選。座右の銘は「為せば成る」。



NEW KOMIITO

公明党

「春風の便り」 第4号

●発行所:高松市議会議員 春田敬司

●発行日:2009年1月

●連絡先:〒761-8013

高松市香西東町14番地8

TEL087-842-5730